No.	意見の内容	意見についての考え方
1	《市税の徴収率》 徴収率について、現年度分は高い徴収率であることがわかるが、滞納分についてはどのように対応していくかが今後の課題である。滞納分を不納欠損処分するまでの期間において、どのように対応されているのか確認をお願いしたい。	滞納処分の執行(督促など)を停止する要件として、①滞納処分をすることができる財産がないとき。②滞納処分をすることによって生活を著しく窮迫させるおそれがあるとき。③所在及び滞納処分をすることができる財産がともに不明であるときに滞納処分の執行を停止することとなり、執行の停止が3年間継続したときに、不納欠損処分することとなります。 不納欠損処分までの3年間で、毎年、執行停止の対象者について、財産状況の調査を行い、徴収可能と判断した場合は、執行の停止を解除することとなり、徴収不可と判断した場合に不納欠損処分することとなります。
2	《市税の徴収率》 平成29年度の軽自動車税滞納繰越分の徴収率が 昨年度(20.82%)から大幅に上昇した(29.11%)こと に理由はあるのでしょうか。	軽自動車税の滞納繰越額は他税と比較しても少額であるため、わずかな収入でも徴収率が変動いたします。特に、平成28年度に当該税が増税されたことで、滞納繰越分の徴収率が低くなったと想定します。平成28年度に滞納された方が、例えば、車検等で納付する必要が発生し、滞納分を納付したため、平成29年度の徴収率が上昇したと想定されます。 平成29年度滞納繰越分徴収率 =H29年度滞納繰越分収入額/H29年度滞納繰越額
3	《生駒市を取り巻く環境》 財政状況の見通しで、歳入の状況と見通しでは決 算資料だけで市税収入が減少していくと記載されていますが、市税収入はいつ頃から、どのように、何 故減少していくのかについて、資料も分析の記載も ありません。歳出については、社会保障費の増加、 学校給食センターの運営費用、公共保全施設の保 全・改修費等が増加すると増加の理由は記載されていますが、いつ頃からどのように歳出が増加していくのかを予想した資料がありません。歳入・歳出の今後の推移は大事なところなので、詳細な資料と分析に加えて、どうしてそう見通すのか説明がいると思います。それにより今後の決算状況がどうなり、財政事情を勘案した行革が必要と説明した方がいいと思います。	市税収入の現状については、、歳出については、増加する年度を文中に記載し、いつ頃から増加するかわかりやすく記載するとともに、中期財政計画の歳入・歳出見通しを掲載し、今後非常に厳しい財政状況となることから、さらなる行財政改革が必要であると、行政改革大綱で記載しています。
4	《生駒市を取り巻く環境》 市債残高、公債費の推移も将来どう推移するのか 決算だけで今後の見通しがありません。財政指標 も同じです。	市債残高、公債費、財政指標につきましても、中期財政計画の今後の見通しを掲載いたします。
5	《生駒市を取り巻く環境》 普通会計の表現は一般的に分かりにくい(一般会計 との違い)ので説明がいると思います。	ご指摘のとおり、普通会計について注釈で説明い たします。

6	《公共施設等の現状》 10ページの公共施設の現状は記載の資料だけでは課題の抽出には不足しているように思います。どういう施設がどれだけあって、どういう状態にあるのかが分かる資料がいると思います。	ご指摘のとおり、公共施設の保有状況、整備状況 等について詳細に記載し、公共施設の計画的な更 新・統廃合が必要であることにつなげます。
7	《行政改革大綱の基本的な考え》 3 行政改革大綱の継続・充実の必要 (2)新たな行革大綱の必要性 文章が長くて読み手には理解がし難いのではと思 います。	ご指摘のとおり、文章が長くなっていますが、必要性についてはしっかりと伝える必要があるため、詳細に記載しておりますが、読み手に理解していただけるよう文言を変更しました。
8	《ファシリティマネジメントについて》 ・富田林市の施設評価を参考にいただきたい。 ・市民アンケートで、利用頻度が少ない施設に対して、残してほしいという意見があった場合にどのように判断されたか確認していただきたい。	富田林市の施設評価を配布しますので、参考にしてください。 富田林市では、1次評価で稼働状況を高く設定されていますが、1次評価の結果だけでは判断できないため、2次評価、アンケート結果を併せて評価を行っておられ、残してほしいという意見だけをもって判断するのではなく、総合的に判断されています。